

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

<div>産業廃棄物処理計画書</div> <div>令和7年6月13日</div> <div>(あて先) 宇都宮市長 佐藤 栄一 様</div> <div>提出者 住 所 栃木県河内郡上三川町上郷2441番地 氏 名 有限会社 鶴見建材工業 代表取締役 鶴見 祥寿 電話番号 0285-56-6365</div> <div>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</div>	
事業場の名称	有限会社 鶴見建材工業
事業場の所在地	栃木県河内郡上三川町上郷2441番地
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	建設業・総合工事業
② 事業の規模	116,179千円 完成工事高 (前年度実績)
③ 従業員数	10名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
<div>(管理体制図)</div> <div>別紙2のとおり</div>			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり	t
	(これまでに実施した取組) 再生利用、減量化などに努めている。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排 出 量	別紙3のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) 再生利用、分別化を指導促進し更なる減量化に努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業現場での分別を徹底している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 作業現場での分別を徹底し、減量化を図る。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	t
	(これまでに実施した取組) 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	t
	(今後実施する予定の取組) 該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（令和 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙3のとおり	t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	別紙3のとおり	t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	別紙3のとおり	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	別紙3のとおり	t
	（これまでに実施した取組） 中間処理業者選定において、許認可を確認し契約後、適正な処分を行った。		

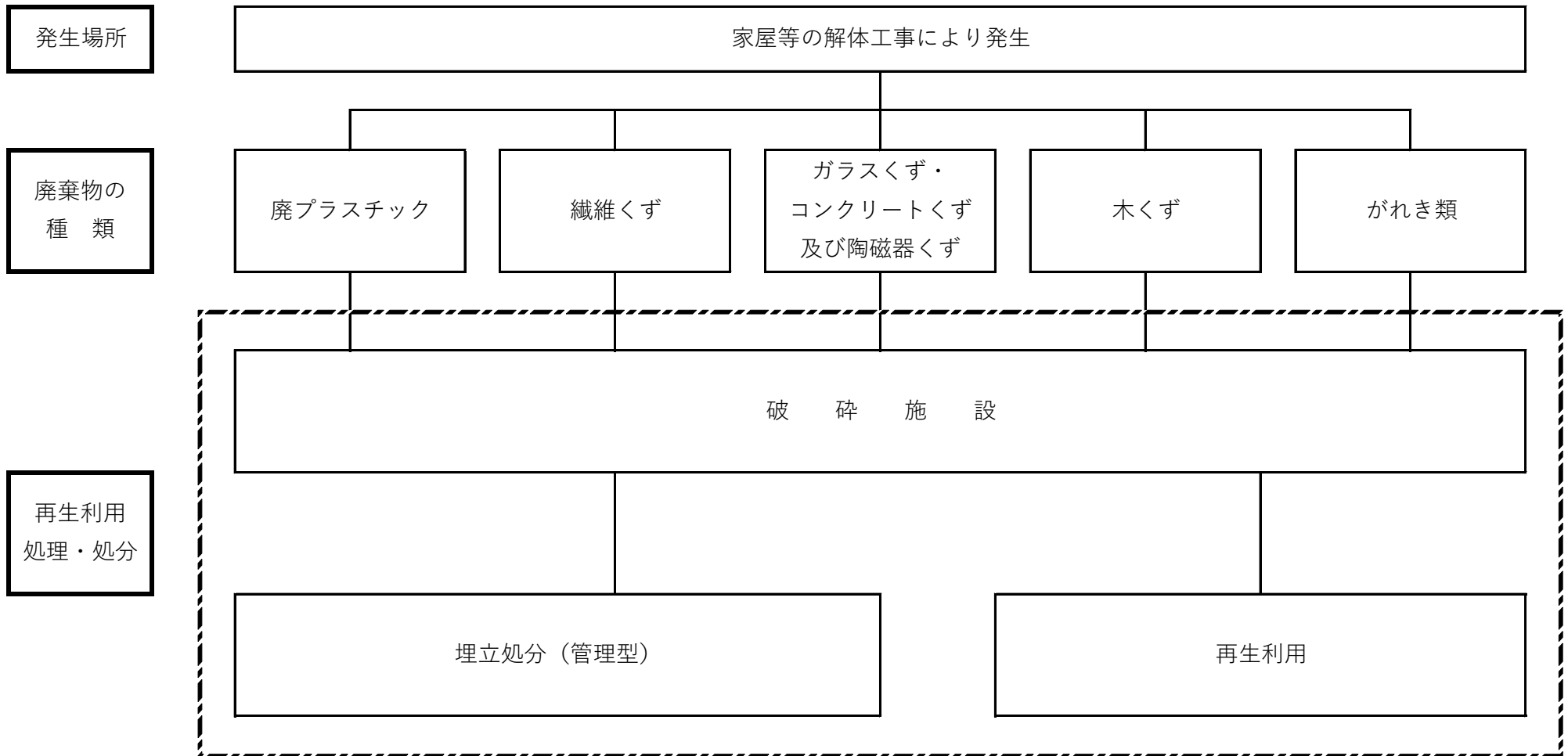
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙３のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙３のとおり	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	別紙３のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙３のとおり	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	別紙３のとおり	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	別紙３のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)		
	中間処理業者選定において、許認可を確認し契約後、適正な処分を行い、積極的に減量化に努める。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

——— 廃棄物処理の流れ

----- 委託処理の範囲

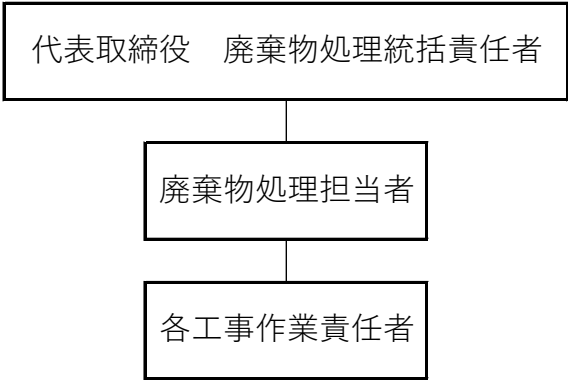


産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

1、責任者及び管理組織図

産業廃棄物処理統括責任者		代表取締役
役割	廃棄物処理統括責任者	・ 廃棄物処理方針の策定
		・ 廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認
		・ 現場の廃棄物管理規定の策定・改廃
	廃棄物処理担当者	・ 廃棄物処理計画の作成
		・ 廃棄物管理状況の把握と改善策の検討
		・ 処理業者、再生利用業者の調査、選定及び管理
		・ 委託契約の締結
		・ 産業廃棄物管理票の交付、管理
		・ 監督官庁への各種報告
		・ 社員、関連会社に対する教育、啓発
		・ その他関係する事項

2、廃棄物管理組織図



令和6年度実績及び令和7年度目標

廃棄物の種類及び実績、目標	廃プラスチック類		ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず		木くず	
	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
排出量	7.96	10	1188.79	835	76.37	100
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入処分量						
全処理委託量	7.96	10	1188.79	835	76.37	100
優良認定処理業者への処分委託量						
再生利用業者への処理委託量	7.96	10	1188.79	835	76.37	100
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						

廃棄物の種類及び実績、目標	繊維くず		がれき類			
	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）	実績（t）	目標（t）
	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度	令和6年度	令和7年度
排出量	6.15	5	68	45		
自己再生利用量						
自己熱回収量						
自己中間処理減量化量						
自己埋立処分又は海洋投入処分量						
全処理委託量	6.15	5	68	45		
優良認定処理業者への処分委託量						
再生利用業者への処理委託量	6.15	5	68	45		
認定熱回収業者への処理委託量						
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						